

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公開番号】特開 2019-216115 (P2019-216115A)

【公開日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2019-165836 (P2019-165836)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

H 0 1 G 13/02 (2006.01)

H 0 1 M 6/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 10/04 W

H 0 1 G 13/02 M

H 0 1 M 6/02 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 8 日 (2020.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コアを形成するためのコア用フィルムをコア巻芯に巻回するコア巻回機構と、
前記コア巻芯に巻回したコア用フィルム巻回体の後端付近を巻き留めする端部固定機構と、
前記コア用フィルム巻回体を押し潰し、コアを形成する 2 個の把持部材と、
電池又はコンデンサを形成するための帯状の素子フィルムを前記コアに巻回するフィルム巻回機構と、
を備え、
前記端部固定機構は、前記素子フィルムの先端付近を前記コアに固定するように構成された巻回装置。

【請求項 2】

前記端部固定機構を前記フィルム巻回機構の近辺に移動させる固定機構移動手段を備えた請求項 1 に記載する巻回装置。

【請求項 3】

前記端部固定機構は、
回転中心軸及び外周面を有し、該外周面の周囲の空気を吸引する吸引体と、
前記吸引体を回転中心軸のまわりに回転させる回転手段と、
粘着テープ用フィルムの先端付近を前記吸引体の外周面に位置決めする位置決め手段と、
前記吸引体が所定の回転角だけ回転させられて巻回された粘着テープ用フィルムの後端付近を切断する切断手段と、
を備えた請求項 1 又は 2 に記載する巻回装置。

【請求項 4】

前記端部固定機構は、前記素子フィルムの後端付近を該素子フィルムの巻回体の外周面に固定するように構成された請求項 1～3 のいずれかに記載する巻回装置。

【請求項 5】

コア用フィルム巻回体を押し潰し、コアを形成する 2 個の把持部材と、
電池又はコンデンサを形成するための帯状の素子フィルムの先端付近を前記コアに固定
する端部固定機構と、
帯状の素子フィルムの前記コアに巻回して巻回体を形成するフィルム巻回機構と、
を備え、
前記端部固定機構は、前記素子フィルムの後端付近を前記巻回体の外周面に固定するよ
うに構成された巻回装置。

【請求項 6】

前記端部固定機構を前記フィルム巻回機構の近辺に移動させる固定機構移動手段を備え
た請求項 5 に記載する巻回装置。

【請求項 7】

前記端部固定機構は、
回転中心軸及び外周面を有し、該外周面の周囲の空気を吸引する吸引体と、
前記吸引体を回転中心軸のまわりに回転させる回転手段と、
粘着テープ用フィルムの先端付近を前記吸引体の外周面に位置決めする位置決め手段と
を備え、
前記吸引体が所定の回転角だけ回転させられて巻回された粘着テープ用フィルムの後端
付近を切断する切断手段と、
を備えた請求項 5 又は 6 に記載する巻回装置。

【請求項 8】

コアを形成するためのコア用フィルムをコア巻芯に巻回するコア巻回機構を備え、
前記端部固定機構は、前記コア巻芯に巻回したコア用フィルム巻回体の後端付近を巻き
留めするように構成された請求項 5～7 のいずれかに記載する巻回装置。